

# 名大の時間

## 名寄での他大学との交流

来て、ゼミ交流を行いました。他の大学の学生と交流する機会があまりなかったため、その日をとて楽しみにしていました。

ゼミ交流では、まず名寄市内の「どろんこはうす」を見学させていただきました。0-2歳の子どもたちのおやつの間を見学したり、近くの公園まで散歩して一緒に遊んだりしました。散歩での子

どもたちの素直な気づきや無邪気に遊ぶ様子にとっても癒され、また、子どもたちと遊ぶだけでなく保育士の先生方の声かけの仕方や保育環境の工夫を学ばせていただきました。

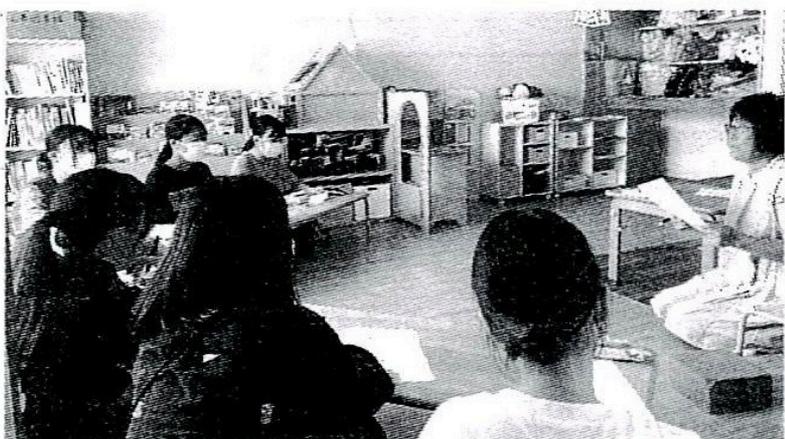
その後「どろんこはうす」が共同保育所として始まった背景や保育で大事にされていることについての講義を受けました。子どもたちが楽しく過ごすことがで

きるような工夫や、乳児も幼児も学童児も一緒に育つ意味などを伺うことができ、視野が広がりました。

講義後、学童保育の子どもたちの宿題を見守ったり一緒に遊んだりしました。立教大学のみなさんが子どもたちとすぐに打ち解けて楽しそうに遊ぶ様子を見て、さすが東京の大学生、コミュニケーション能力が高いな

と感じました。

夜の懇親会では焼肉を食べながら、お互いにどんな勉強をしているか、将来どんなことをしたいか、中学高校時代の部活、日々の生活などを話しました。渋谷や原宿のような東京だからこそできる休みの日の過ごし方や魅力を聞いてうらやましい気持ちになりましたが、埼玉県や神奈川県のお宅から長い時間をかけて通学する学生が多いことも聞き、自宅から大学までの通学時間が短くてスーパ



があることに気づくことができませんでした。

また機会があれば、今度は私たちが立教大学に行つて、東京の保育施設などを見学させていたただいて、それぞれの保育や教育についてもっと話すことができたらと思います。

社会保育学科3年  
白石彩萌

昨年の秋、東京の立教大学文学部教育学科の学生が名寄に